

2026 年度全能連講演会・交流会を開催

全日本能率連盟 講演会

- 2026年6月2日（火）アルカディア市ヶ谷
- 講師 / 経済産業省 産業人材課 課長補佐 林 美穂 様
- 演題 / 就業構造の変化と人的資本経営のこれから



講演会は、全能連 小澤会長の挨拶から始まり、会場は厳かな中にも期待感のある雰囲気になりました。小澤会長は、林様によるご講演への感謝の意を述べられるとともに、本会が参加者にとって有意義な学びと交流の機会となることへの期待を示されました。

就業構造の変化と人的資本経営のこれから（講演骨子）

本講演では、産業構造や働き方が大きく変化する中で、企業が持続的に成長するための「人的資本経営」の考え方についてを説明。人材を単なるコストではなく、企業価値を生み出す重要な経営資源として捉え、経営戦略と結び付けて活用することの重要性が示された。また、AI・リスキング時代における人材育成と、人的資本経営を実践するための取り組みについて紹介された。



産業構造・就業構造の変化と企業経営の課題

日本経済の成長力低下の背景には、設備投資や研究開発投資だけでなく、人材への投資が十分に行われてこなかったことがあるとの説明があった。これまで企業では、人材育成をコストの一部として捉える傾向も見られたが、今後は、人材を企業価値を生み出す重要な経営資源として位置付け、経営戦略と一体的に考えていくことが必要であるとの説明があった。

人材不足時代に求められる経営の転換

少子高齢化による労働人口の減少により、従来の採用強化だけでは人材不足への対応は難しくなっている。女性や高齢者の活躍推進に加え、産業構造の変化に応じて必要な能力やスキルを明確にし、社員一人ひとりが学び直し（リスキング）を進めながら、新たな分野で活躍できる環境を整備することが求められている。これからの企業には、「必要な人材を外部から獲得する」という考え方だけでなく、「社内の人材が新たな価値を生み出せるよう育成・活用する」という視点が重要になる。

AI 時代における人の役割とスキル形成

重要なのは、「AIによって仕事なくなる」という視点ではなく、人間が持つ判断力、創造性、専門性をどのように高めていくかという考え方であり、AIを活用して業務効率化を進める一方で、人が担うべき役割を明確にし、より高度な能力を発揮できる人材づくりが必要となる。そのため、企業が必要とするスキルを明確化し、個人の能力開発を支援するとともに、企業・教育機関・社会全体で人材育成を進める仕組みづくりが重要になる。



人的資本経営とは何か

人的資本経営とは、人材を「資本」として捉え、その価値を最大限に引き出すことで、中長期的な企業価値向上につながる経営の在り方です。「人材版伊藤レポート」により、人的資本経営に求められる3つの視点・5つの共通要素が整理されました。人事部門だけの課題ではなく、経営そのものの課題として、必要な人材像を描き、育成・配置を行い、組織全体の力として発揮させることが求められている。

そのため、企業間で事例や考え方を共有しながら、より良い人材戦略を検討していくことが求められている。

人的資本経営コンソーシアムの役割

人的資本経営を実践する取り組みの一つとして、国が立ち上げた「人的資本経営コンソーシアム」について紹介があった。同コンソーシアムは、企業が人的資本経営に関する考え方や実践事例を共有し、それぞれの企業が自社の人材戦略を考えるための情報交換や学びの場として設立されたものであり、本年4月より一般社団法人化されている。人的資本経営は、企業ごとに置かれている状況や経営課題が異なるため、一律の方法ではなく、自社の経営戦略に応じて取り組むことが重要である。

そのため、企業間で事例や考え方を共有しながら、より良い人材戦略を検討していくことが求められている。

質疑応答では

Q. 日本の労働参加率は世界的に見ても高い水準にあるにもかかわらず、なぜ人手不足が起きているのでしょうか。

AI やロボットによる代替が可能な業務が存在する一方で、それらの導入や活用が十分に進んでいないという課題があります。現在、大企業を中心にAI 導入による業務の棚卸しや代替シミュレーションが始まっています。今後、各企業においてAI・ロボットへの代替を含めた事業ポートフォリオや人材ポートフォリオの転換が行われていくものと考えます。

Q. 人的資本経営を推進していくなかで、戦略17分野に人を寄せるような、業界をまたいで人材の流動化を図る施策や仕組みはありますか？

国家として成長を促すべき「戦略17分野」に関する議論が行われており、文部科学省等と経済産業省が緊密に連携し、教育界から産業界へ必要な人材を供給するための政策を進めています。企業が個別に優秀な人材を囲い込むだけでなく、国全体での適材適所を実現する必要があります。今後余剰が見込まれる事務職などの職種から、リスキリングを伴う配置転換を促す施策を検討しています。

Q. ジョブタグやITSSなど、各省庁で整備されているスキル標準が乱立していますが、これらを集約・一本化するデータベースの構想はありますか？

産業構造の変化を見据えた最適な人員配置と、処遇改善に向けたスキル見える化の必要性をお話いたしました。各産業に求められるスキルを、「産業横断的」に共通の物差しとして可視化できるように、現在関係省庁等と連携して取組を進めています。また、これらを一元的に活用できるようにするための「データベース化」についても、セットで開発・整備していく予定です。

今回のご講演は、これからの働き方や企業のあり方を考える上で、大変参考になる内容でした。ご講演後の質疑応答では、参加者からの質問に対して丁寧に回答していただきました。最後に、名刺交換の時間を設けさせていただき参加者との交流が行われました。

全日本能率連盟 交流会

林様のご講演の後には、全能連会員団体の皆様による交流会が開催されました。会場では、終始和やかな雰囲気の中で、参加者同士の親睦が深

まるとともに、新たな連携や協力関係の可能性を感じさせる機会と

となりました。株式会社日本コンサルタントグループ 代表取締役社長 清水様より閉会のご挨拶があり、本会の意義と今後のさらなる発展への期待が述べられ、盛会のうちに散会となりました。



INFORMATION

全能連マネジメント・アワード募集中



経営・マネジメント分野において革新・先進的な経営指導、人材活力向上のための研修・教育プログラムの企画・展開、実践的理論の研究などの事例取り組みを表彰する制度です。第一次審査、第二次審査を通じて、全能連マネジメント大賞をはじめ、人的資本マネジメント賞ならびに4つの「オブ・ザ・イヤー」や特別賞が贈られます。副賞として総額110万円の賞金または賞品が贈られます。

- 募集締切：2026年8月31日(月)
- 第一次審査(書面)：2026年10月25日(日)
- 第二次審査(プレゼン発表)：2027年1月23日(土)

2026 全能連オンラインセミナー開催しました

「ヒューマンエラーからの価値創出」

ヒューマン
エラーでは...



DXやAIが進展する今も、業務のあらゆる場面で“人が関わる限り”ヒューマンエラーはゼロにはできません。エラーを理解し、未然に防ぎ、どう価値に変えていくかが、これからの組織に求められる力です。本セミナーでは、ヒューマンエラー防止を切り口に「安全・安心・安定(3安)職場づくり」を支援してきた 大西 弘倫氏(ヒューマンエラーラボ 代表)を講師に迎え、6/15(月)、6/26(金)、7/6(月)の全3回集中講義を開催いたしました。全3回の見逃し配信(有料)がございます。詳しくは事務局までお問合せ下さい。

日枝神社「山王祭」

全能連事務所の近くで、見る事ができました。山王祭とは、徳川将軍家が江戸城に神輿を迎え入れた「天下祭」の伝統を今に伝える、日枝神社の壮大な祭礼だそうです。平安時代の装束を纏った500名が都心を練り歩く「神幸祭」は、高層ビル群と歴史絵巻が交差し、都心を鮮やかに彩っていました。

(2026.6.12
一番町界限にて撮影)



2026年度 全能連顕彰ご推薦のお願い

顕彰とは、会員代表者様のご推薦により、産業人材の育成支援に関わる研究、指導、普及等に尽力・貢献された方、各会員団体の発展に尽力・貢献された方などを表彰するものです。2026年度の全能連顕彰につきまして、会員の皆様からのご推薦を賜りたいと存じます。顕彰式は、受賞される皆様に祝福する華やかな場といたしたく、会員代表者様やご所属の皆様にも多数ご参加いただきたく存じます。候補者ご推薦とあわせ、式典ご出席に向けた日程調整につきましてご検討お願い致します。



- 日時：2026年9月16日（水）
表彰式 16時～ 懇親会 17時～
- 会場：アルカディア市ヶ谷
- その他：顕彰者を祝福する「祝福人」の募集案内は8月中旬を予定しております。

2026年度定時社員総会を開催

全能連 2026年度 定時社員総会が、6月2日（火）アルカディア市ヶ谷にて開催され、以下の全ての議案についていずれも満場一致で原案のとおり承認可決されました。また、2026年度事業計画、収支予算等の報告御、引き続き行われた理事会にて選任された、新任の副会長、理事よりご挨拶をいただきました。

<議題>

第一号議案 2025年度事業報告ならびに収支決算書承認の件

第二号議案 役員辞任による役員の選任に関する承認の件

第三号議案 常勤役員報酬支払額承認の件

<新副会長>

張 士洛（株式会社日本能率協会マネジメントセンター）

松村 佳洋（一般社団法人中部産業連盟）

<新理事>

福岡 徹（一般財団法人企業活力研究所）



全能連事務局では、今年度から年間4回の会報誌をWEBにて発行する予定です。今回は記念すべき初号です！本誌は、会員団体の

皆様をはじめ全国の皆様に全能連の活動を知っていただくことを目的としております。より多くの方々に見てもらえる会報誌を目指し微力ながら努めさせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

今回の「講演会・交流会」は、2020年以来となる待望の開催となりました。